

令和 3 年 10 月 19 日

東京都知事
小池 百合子 様

一般社団法人日本動画協会
理事長 石川 和子

要望書

1. アニメーション文化・産業の振興及び人材育成への支援について

昨年から続く新型コロナウイルス感染症は、アニメーション業界においても、制作・放送・上映・配信などの遅延や延期などが発生し、多大な影響がございました。

さて、日本のアニメーション産業市場ですが、2010 年から 10 年連続で過去最高を更新し、2019 年には国内外合わせて 2 兆 5 千億円となるまでに成長しましたが、2020 年は新型コロナウイルス感染症の影響で、市場の縮小が見込まれています。2021 年から 2022 年にかけては、アニメーション業界全体でデジタルトランスフォーメーションへの取り組み強化などにより、多少持ち直すのではないかと考えていますが、予断はできません。

また、アニメーション業界は、現在、人材の育成が急務となっています。弊協会内人材育成委員会が製作した「TV アニメシリーズ制作における制作進行のマニュアル」や「アニメーターの課題集 -動きの法則を理解するための第一歩-」、弊協会が主催し、産学で構成する「アニメ人材パートナーズフォーラム」などを通じて、学生から就業者を対象に人材育成に取り組んでいますが、いまだ不十分であると認識しています。

東京都様には、これまでのアニメーション文化・産業の振興及び人材育成に関わる広範なご支援に厚く御礼申し上げますとともに、ウィズコロナ、ポストコロナ社会を見据え、引き続き日本のアニメーションへのご支援を要望いたします。

2. 東京アニメアワードフェスティバル 2023 開催への支援について

東京アニメアワードフェスティバルは「次世代のアニメーション制作を担う人材の発掘・育成等を行い、東京のアニメーション産業の発展・振興を図ること。」及び「東京の魅力を発信し、東京の観光振興に資すること。」という目的のため、日本動画協会が主催し、東京都に共催いただいている国際アニメーション映画祭であり、2017 年に会場を池袋に移し、毎年、世界中から数多くのアニメーション関係者やファンが訪れています。

今年 3 月の東京アニメアワードフェスティバル 2021 は、コロナ禍にありながらも、東京都様始め多くの方々の多大なご支援により、オンライン配信も交え無事に実施することができました。来年 3 月開催の東京アニメアワードフェスティバル 2022 も、安全・安心を第一に配慮し、また、オンライン配信を行うプログラムご用意しながら、多くのお客様に楽しんで頂ける様、邁進して参りますので、是非引き続きのご支援を賜れますと幸いです。

そして、来たる東京アニメアワードフェスティバル 2023 に向けては、引き続き作品応募や広報効果の極めて高い、世界最大規模のアヌシー・アニメーション国際映画祭に、日本を代表する

国際アニメーション映画祭として、さらには日本のアニメーションを世界にアピールするためにも、是非出展させていただきたいと存じます。

同映画祭に出展したことにより、コンペティション部門の応募数が大幅に増加したことはもちろんですが、日本国外の団体などとも毎年顔を合わせて話ができることで、関係を構築することができ、海外の著名で才能のある作家のプログラムを共同で制作するなど、様々なコネクションを増やすことができました。

また教育面では、次世代のアニメーション制作を担う人材の発掘・育成を目的とし、毎年開催している「こどもアニメーション部門」や、昨年度から新設した、コンペティション部門の「学生賞」に加え、本年度は外部の団体とも連携し、アニメーション業界と教育界を繋ぐ新企画も行っています。

さらに、本年度より、予算を増額頂き実施をしている、オンラインプレ企画も、多くの反響を得ており、東京まで来ることが難しかったお客様にも TAAF のプログラムを届けるとともに、事前からの広報を広く実施することができ、3月の本番への誘客にも繋がられるかと思えます。東京アニメアワードフェスティバル 2023 が開催される来年度以降も続けていければと思いますので、ぜひ、このような取組への引き続きのご支援を要望いたします。

3. アニメアーカイブ事業への支援について

東京は国産アニメーションの発祥の地であり、アニメーション制作会社の集積地でもございます。東京都の施設において、数多くのアニメ作品を保管いただき、貴重なフィルムや中間成果物などの散逸や劣化を防いでいただくことに対し、アニメーション業界を代表して、改めて御礼申し上げます。

引き続き、貴重なアニメ作品を保管することに対するご支援をお願いするとともに、今年度同様、セルアニメの保管資料を活用し、都内のアニメ関連の観光スポットにて展示する機会を提供することは、国内外の観光客、アニメファン、学生等に対して、アニメの魅力を発信する機会となるため、来年度も引き続きのご支援を要望いたします。

4. 都内におけるアニメスポットを巡る回遊性向上事業への支援について

令和元年度より、デザインマンホールも含めた都内全体のアニメ関連観光情報等を発信する「アニメ関連観光情報発信事業」を実施いただいております。

昨年度に引き続き、今年度もこの事業の一環として、都の観光公式サイト「GO TOKYO」の特設ページ「アニメ・マンガ関連観光スポット」にデザインマンホール等のアニメ関連スポットの情報を、世界9つもの言語で展開される予定であることは、ポストコロナに向けたインバウンド施策として、大変有意義であると考えます。

こうした都内のアニメスポットを積極的に情報発信し、都内の地域を巡る取組の継続を引き続き要望いたします。